

図書館 1Fで展示しています（2月）

2025年4月～12月 貸出ベスト

（学生・教職員・一般の方）



「カフネ」

阿部暁子 著 講談社

2025年本屋大賞受賞作。おいしいと思える。ただそれだけで、うれしい。法務局に勤める野宮薫子は、溺愛していた弟が急死して悲嘆にくれていた。弟が遺した遺言書から弟の元恋人・小野寺せつなに会い、やがて彼女が勤める家事代行サービス会社「カフネ」の活動を手伝うことに。弟を亡くした薫子と弟の元恋人せつな。食べることを通じて、二人の距離は次第に縮まっていく。

（出版社HPより）



「内定者はこう話した！ 面接・自己PR・志望動機完全版 '27年度版」

坂本直文 著 高橋書店

「内定者はこう書いた！ エントリーシート・履歴書・志望動機・自己PR完全版 '27年度版」

坂本直文 著 高橋書店

（同順位2冊）





「メディア不信

何が問われているのか」 林香里 著 岩波書店

世界同時多発する民主主義を蝕む「病弊」の実像に迫る。

「『たった1人』に選ばれる話し方」

松下公子 著 スタンダード・プレス

元アナウンサーがビジネスに役立つ話し方を伝重。

「介護現場歴20年。」 安藤なつ 著 主婦と生活社

介護福祉士の資格を持つメイプル超合金・安藤なつさんの
コミックエッセイ。

「アイドルについて葛藤しながら

考えてみた」

香月孝史 著 青弓社

アイドルの面白さと可能性、困難と問題性について考える。

「あいまいな会話はなぜ成立するのか」

時本真吾 著 岩波書店

哲学・言語学・心理学の理論や脳科学研究の成果から解説。

「乱歩と千畝」

青柳碧人 著 新潮社

探偵作家と外交官、若き二人が友となり…。直木賞候補作。

「藍を継ぐ海」

伊予原新 著 新潮社

第172回直木賞受賞作。地球科学者の著者による人間ドラマ。

「ばけばけばけばけばけたくん

たんじょうび」 いわたあきこ 大日本図書

食べるとばけるばけたくん。人気シリーズ第4作。

「パンダのおさじとせっけんパンダ」

柴田ケイコ ポプラ社

おふろの苦手なもぐらののんたが手にいれたふしぎなせっけん。おゆにつけるとパンダの「おさじ」がやってきて…。

(同順位 9 冊)

